

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道145号 <small>やんば</small> ハツ場バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	群馬県
起終点	自：群馬県吾妻郡長野原町長野原 至：群馬県吾妻郡吾妻町松谷				延長	10.8km
事業概要	一般国道145号は、吾妻郡長野原町から沼田市に至延長約49kmの幹線道路であり、地域の産業、経済、物流を支える重要な路線である。ハツ場バイパスは、ハツ場ダム建設に伴う付替道路であるとともに、地域高規格道路の上信自動車道の一部を構成する延長10.8kmの4車線道路である。					
H6年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)		H13年度用地着手		H8年度工事着手	
全体事業費	約319億円		事業進捗率	35%	供用済延長	— km
計画交通量	25,100台/日					
費用対効果 分析結果	B/C	総費用		総便益		基準年
	(事業全体)	3.9	(残事業)/ 事業全体 182/305億円 事業費：170/293億円 維持管理費：12/12億円	(残事業)/ 事業全体 1,191/1,191億円 走行時間短縮便益：1047/1047億円 走行費用減少便益：100/100億円 交通事故減少便益：45/45億円		
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 国土・地域ネットワークの構築（吾妻渓谷付近の屈曲部が解消し西吾妻地区の交通利便性が向上します） 個性ある地域形成（草津温泉等日本有数の観光地へのアクセスが向上し、観光客の増加見込まれます） 他5項目に該当（定量的評価項目を含む）					
関係する地方公共団体等の意見	ハツ場ダム建設事業に伴う生活再建計画の基幹となる施設であり、長野原町及び水没地区ダム対策委員会より早期整備の要望(平成15年9月22日)を受けている。また、渋川市をはじめとする関係2市7町6村の首長で構成される上信自動車道建設促進期成同盟会より早期整備の要望(平成15年7月30日)を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	ハツ場ダム建設事業は、地元の詳細を得て順調に事業を進めており、本バイパスの早期整備の要望は強くなっている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	長野原町については、ハツ場ダム建設事業に伴う補償基準が平成13年6月に妥結し、用地買収及び工事を促進している。吾妻町については、早期補償基準妥結に向け補償交渉を進めている。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	吾妻町についても、平成16年度より用地買収に着手する見込みであり、ダム事業に伴う代替地が概成する平成19年度には先行2車線で供用開始予定である。					
施設の構造や工法の変更等	平成15年5月2日付け「地域高規格道路の構造要件の見直し」を受け、地元利用を考慮した道路構造への変更等を予定している。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図	<p style="text-align: center;">一般国道145号 ハツ場バイパス L=10.8km</p> <p>Map details: Naganohara (長野原町), Matsugaya (吾妻町), various bridges (e.g., 小倉沢橋, 立馬橋, 久森沢橋, 鍛冶屋沢橋, 雁ヶ沢橋, 松谷高架橋), tunnels (久森トンネル, 松谷第1トンネル, 松谷第2トンネル), and existing roads (232号, 408号, 145号, JR吾妻線付替).</p> <p>Legend (凡例): ■ 供用中 (In use) ■ 事業中 (Under construction) ▨ 再評価箇所 (Re-evaluation area) ○○○○ 調査中 (Under investigation)</p>					

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。